

伝統的な言語文化を大切に

味わう「古典」

領域との関連学習

●学習指導要領を受けて、古典と生徒の日常生活・言語生活とを結びつけるために、領域関連の教材を配しました。生き方を考えて「読むこと」や引用して「書くこと」で言語能力を高め、考える力を伸ばします。

例 三年本編「好きな和歌を紹介しよう」

学習目標には「自分の表現に役立てる」ことを位置づけ、古典学習を生活と結びつけました。

好きな和歌を紹介しよう

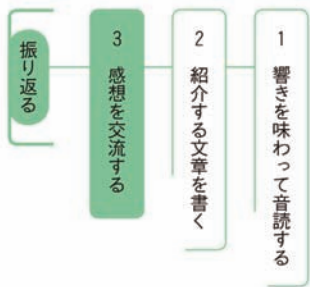


課題をもって書くこと

●書いた文章を交流し、自分の表現に役立てる。

確 226

『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』に集められた和歌は、日本人の心の優れた表現です。それぞれの和歌の特徴を捉えながら音読し、リズムや言葉の響きを味わいましょう。そして、好きな作品を選び、情景や作者の心情を詳しく思い描きながら、その作品を紹介する文章を書きましょう。書いた文章は友達どうして読み合い、感想を交流しましょう。



領域と関連させた古典学習

- 一年 「故事成語」を使って書くこと「書くこと」領域
- 二年 「平家物語」(「読むこと」領域)
- 三年 「好きな和歌を紹介しよう」(「書くこと」領域)

古典

1 響きを味わって音読する

万葉集

君待つと吾が恋ひをれば我が屋戸のすだれ動かし秋の風吹く

額田王

君待つと、あなたがいらっしゃるのを待って、恋ひをれば、恋しく思っておりますと。

近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もしの

あしひきの山のしづくに妹待つと我立ち

我を待つと君が濡れけむあしひきの山の

銀も金も玉も何せむにまされる宝子にし

2 紹介する文章を書く

紹介したい作品について、次のことをノートにまとめておきましょう。

- ア その歌によまれている情景や作者の心情。
- イ その歌の、どんなところが気に入ったか。
- ウ 引用して紹介したい表現と、それをどのように紹介するか。

ノートを見ながら、まとめたものの順序を考え、清書しましょう。

銀も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも

山上憶良

- ア 子どもが何よりも大切だという作者の心情。
- イ 子どもが大切だということを力強い表現で歌っているところ。
- ウ 「銀も金も玉も何せむに」というところが特に力強く感じた。また、「しかめやも」と終わっているのも力強い。

(※ 銀・金・山 上 憶良)

3 感想を交流する

できあがった文章を読み合い、感想を交流しましょう。友達の文章の中から次のような点を見つけて、ノートにメモしておきましょう。

- 文章の展開の仕方や表現の仕方などで、優れていると感じられたり、自分の表現に役立てたいと思った点。
- 歌の内容を上手に捉えていると感じた点。
- 興味深い見方や考え方をしていると感じた点。

振り返る

- この学習を通して考えたことや身についたことを、次の点にそって振り返り、書いてまとめておこう。
- 交流したことを、自分の表現に役立てられたか。

広 89 99

書くこと

具体的な文章例も示し、より取り組みやすくなるようにしています。